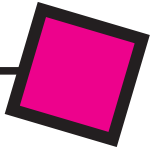


2023年度 年報



NIZE LAB

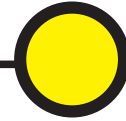


一般社団法人 タテノイト





目次



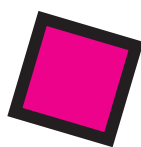
CONCEPT 02

CONTENTS 03

- ① 問いの芽 (平日昼間の学びの場)
活動報告 04-05
- ② NAZELAB図書館 (放課後の居場所)
子どもと大人の第三の居場所・ナゼラボキッチン 06
- ③ NAZELAB Petit (子育てサロン)
未就園児対象の子育てサロン 07
- ④ 問いの種 (イベント)
火山噴火実験! ~火山博士に会いに行こう! ~ 08
親子で学ぶ「性」のこと~第二次性徴編~ 08
小学生ママのための絵本で子育て講座 09
宇宙で生き物を探そう! 09
~コマ博士と学ぶ~子どもコマ対戦! 10
電子顕微鏡で見るミクロと元素の世界 10
その他 10

SUPPORT 11

関係機関や団体、メディア紹介 12





CONCEPT

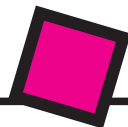
子どもと大人が集い、 多様な学びが広がる場の創出を目指します。

知識習得に偏りがちな日本の集団教育には、平均からの逸脱が認められにくい面があります。こうした環境で他人との比較や評価にさらされ続けると、子どもたち一人ひとりが本来持っている個性や感性が十分に発揮されず、「自己受容感」や「自己肯定感」を持ちにくくなります。

NAZELABでは、子どもも大人も何かを「できる/できない」ではなく、自分が「したい/したくない」を大切にします。人間は生まれながらに好奇心や向上心を持っています。**他者との比較から解放**され、これらを素直に発揮できる場で、自己受容感・自己肯定感を育みます。

子どもと大人が一個人としてフラットに繋がる特別な空間で、自分自身を大切にすること、他者を尊重する気持ちを育むことができるのではないのでしょうか。

NAZELABの学びは、オンラインではなく、**リアルな体験**の中にあります。主な活動として、子どもたちの旺盛な好奇心をくすぐる町内の**森や川などをフィールドとする野外活動**、子どもたちの”知りたい”を追究し**新たな知を生み出す研究活動**、子どもたちの世界観を広げる**サイエンス関連のワークショップ**等を行います。さらに、子どもたちと関わる保護者やスタッフも自分らしくいられる場所を目指し、**大人にとっても育ちの場**となるような活動にも取り組みます。





CONTENTS

1

問いの芽(平日昼間の学びの場)

for 小中学生

どんなに些細な”知りたい”や”やってみよう”でも、学びに繋がります。それを一緒に面白がる仲間とともに深めていく場です。

横瀬町の豊かな自然の中での活動では、たくさんの”知りたい”や”やってみよう”に出会えます。カリキュラム等は設けず、子どもたちが”知りたい”や”やりたい”を見つけ、没頭する時間を大切にします。スタッフは、子どもたちの好奇心に伴走することで、興味を深め、そして広げていきます。自ら成長できる限りないポテンシャルを持つ彼らを信じ、その純粋な探究心に寄り添い、主体的学びをサポートします。

家庭の経済状況によらずに利用できるよう、奨学生制度を設けます。

2

NAZELAB図書館(放課後の居場所)

for 小中学生

放課後に子どもたちや大人が”やりたい事”を持ち寄り、子ども同士や子どもと大人がゆるやかに繋がれるコワーキング・コスタディスペースを開所します。人との出会いや他の子どもたちや大人の”やりたい事”との出会いを通し、子どもたちの世界観が広がる場所を目指します。

また、子どもたちが調理や片付けを行う、子ども主体の子ども食堂を開催します。

3

NAZELAB PETIT(親育ちの場)

for 保護者のみなさま

保護者の自己受容感・自己肯定感は子どものそれらに強く影響を及ぼします。

保護者もまた自分らしさを発揮したり、子育ての悩みや喜びを共有・共感し合える大人の居場所も運営します。

4

問いの種(イベント)

for 子どもから大人までの地域のみなさま

たくさんの”なぜ?”や”やってみよう”に出会えるようなサイエンス関連のワークショップ・多様な生き方・仕事をしている大人と出会えるトークイベントを休日に開催します。



問いの芽(平日の学びの場)

for 小中学生

2年目を迎えた平日昼間の学びの場「問いの芽」。学びの出発点として「体験」にこだわります。今年も秩父の自然を感じる体験、そして制作や実験、料理など、様々な体験を得て、子どもたちの見える世界が変わっていくことを目の当たりにしました。

●秩父の自然を満喫



普段から活動している森は、針葉樹もあれば広葉樹もあり、実に表情が豊かです。過ごしやすい季節もあれば、厳しい季節もあり、出会う景色や動植物も四季折々。子どもたちはそんな多様な世界に日々触れています。



秩父には川や沢が数多くあります。暑い夏は沢で涼を取ったと思えば、寒い季節でも子どもたちは川で遊びこんでいます。



ちょっと遠出をして砂金探し
やミカン狩りにも行きました。



●お出かけ企画

11月から毎月のお出かけ企画をスタートしました。行き先は子どもたちが議論を重ねた上で決定しています。

11月：上野動物園、12月：東京タワー、1月：科学技術館、2月：東京スカイツリー、3月：多摩六都科学館へ行きました。



●料理の時間

世界の料理を作ってみたり、町内で採れた果物を使ってデザート作りも。予算管理や買い物も子ども主体で活動しています。



●制作・実験・アートの時間

草木染めや海水からの塩作り、生き物の顕微鏡観察などなど。子どもたちのやってみやいこと、そして大人のやってみやいことに色々チャレンジしました。



NAZELAB図書館(放課後の居場所)

for 小中学生

●子どもと大人の第3の居場所



小中学校の放課後の時間(15時~18時)に子どものコスタディ、大人のワーキングスペースとしてNAZELABを開放しています。読書をしたり、宿題をしたり、カードゲームやボードゲームをしたり、子どもたちは思い思いの過ごし方をしています。地域の方、隣接施設LAC横瀬ユーザーの方など、様々な大人との交流が生まれています。また、夏休みは開所時間を変更し、みんなで昼食を作る機会を設けました。



●ナゼラボキッチン

月に1度、季節の食材などを使って、みんなで野外調理をしています。大人も子どもも一緒に作って、みんなで頂きます！地域の人たちとの繋がりも増えてきました。実施にあたっては、1月から横瀬町地域おこし協力隊の遠山隆昌さんにご協力いただいています。



NAZELAB Petit(子育てサロン)

for 保護者のみなさま

●未就園児親子対象の子育てサロン

未就園児の親子を対象にした子育てサロン『NAZELAB petit』を実施しました。0歳から3歳の子どもとお母さんが参加してくれました。絵本の読み聞かせや絵本講座を通して、親子で絵本を楽しんだり、保護者の学びの時間となりました。野外活動の日もあり、自然の中で生き生きと遊ぶ子どもたちを見守り、大人も自然の中で過ごすことの心地よさを感じる時間となりました。毎回同じメンバーで過ごすことで、参加者同士の信頼関係も生まれ、温かくゆったりとした雰囲気の中で過ごすことができました。



「問いの種」

for 子どもから大人までの地域のみなさま

●火山噴火実験!～火山博士に会いに行こう!～

【日 時】5月21日(日)10:00～11:30

【ゲスト】えいしゅう博士・よー博士(博士(理学)/火山学者)

【参加者】29名

火山の噴火。火山列島日本に住む私たちが避けられない自然現象の一つです。実験もまじえ、「火山はなぜ噴火するの?」「どうやって噴火するの?」といった内容について学びました。



●親子で学ぶ「性」のこと ～第二性徴編～

【日 時】6月11日(日)10:00～11:30

【ゲスト】宮原 まり(「おかのうえ助産院」助産師)

【参加者】22名

第二性徴を迎える前に、親子で学んでほしい初経や精通、性交渉、赤ちゃんが産まれるまでのこと。オープンに、そして、とても分かりやすいお話して、90分という長い時間でしたが、子どもたちも、とても真剣に聞き入っていました。



4



●小学生ママのための 絵本で子育て講座

【日 時】 6月25日(日)13:00~14:30
 【ゲスト】 上甲 知子(絵本読み聞かせ講師)
 【参加者】 18名

せっかく続けてきた読み聞かせ。文字が読めるようになったからと言って、やめるのはもったいない!年間約1000人の保護者、保育者などに絵本のある子育てについて伝授している上甲知子さんの実体験にもとづいた講座で、「読まなければ」が「読みたい」に変わりました。



●宇宙で生き物を探そう!

【日 時】 8月9日(水)14:00~16:00、 8月10日(木)14:00~16:00
 【ゲスト】 ゆうこ博士(網蔵優子・博士(生命科学)/生命科学者)
 【参加者】 19名

一日目の「太陽光パネルを折り紙でおろう!」では、しげちゃんの宇宙生命探査のトークの後、ゆうこ博士と折り紙に挑戦し、苦戦しつつも無事に完成しました。二日目の「DNAを取り出す実験をしよう!」では、バナナや納豆などからDNAを抽出しました。地球上の生物はみんな持っているDNAですが、地球外生命体はDNAを持っているとは限りません。手を動かしつつ、地球外生命に思いを馳せる、素敵な二日間になりました。



●～コマ博士と学ぶ～ 子どもコマ対戦!

【日 時】 12月10日(日) 13:00～14:30

【ゲスト】 山崎詩郎 (博士(理学)/物理学者/東京工業大学助教)

【参加者】 22名

コマ博士に色々なコマを紹介してもらった後は、良く回るコマはどう作ればいいのか考えながら、金属のパーツを組み立ててオリジナルのコマを作りました。そのコマを使って、白熱した対戦が繰り広げられました。子どもコマ博士の陽樹くんが企画した、身近な材料を使ったコマ作りの時間も設けました。



●電子顕微鏡で見るミクロと元素の世界

【日 時】 3月30日(土) 10:30～12:00、3月31日(日) 10:30～12:00

【参加者】 72名

世界的な電子顕微鏡メーカー日本電子さんにご協力頂き、電子顕微鏡の授業が実現しました。しげちゃん(館野繁彦・博士(理学)/地球惑星科学者)と一緒に、身近な昆虫や植物を観察して、生き物が作る精巧な造型に驚きました。元素分析ができる検出器を使って、硬貨や鉱物、岩石にどんな元素が入っているのかも調べました。



●その他

地域の方々や企業にご協力いただき、「移住者座談会」・「じゃがいもを味わいつくす会」・「朝の図書館」・「お月見の会」を実施致しました。



SUPPORT



NAZELABは一般社団法人タテノイトが 日本財団の助成を受けて運営しています。

「子ども第三の居場所」コミュニティモデルとして、地域の方が気軽に立ち寄り、子どもたちが地域の人々との交流を通じて人と関わる力や自己肯定感を育むことができる環境を用意します。「子ども第三の居場所」は、すべての子どもたちが将来の自立に向けて生き抜く力を育むことを目的として、日本財団が中心となって2016年より全国に開設しています。

「子ども第三の居場所」では、特にひとり親世帯や親の共働きによる孤立や孤食、発達特性による学習や生活上の困難、経済的理由による機会の喪失など、各々の置かれている状況により困難に直面している子どもたちを対象に放課後の居場所を提供し、食事、学習習慣・生活習慣の定着、体験機会を提供しています。同時に、学校や地域、専門機関と連携し、「誰一人取り残されない地域子育てコミュニティ」のハブとしての機能を担っていきます。

現在全国に199ヵ所設置され、2025年度までに全国500拠点の開設を目指しています。
(2024年1月現在)



ご協力、連携して頂いている関係機関や団体

1. 横瀬町

- ・官民連携プラットフォーム「よこらぼ」に採択(採択No93)
- ・拠点隣接施設である町のコミュニティスペース「オープン&フレンドリースペース エリア898」との連携と共創

2. 株式会社ENgaWA

- ・近隣施設「チャレンジキッチンENgaWA」との連携と共創

3. 株式会社LIFULL

- ・拠点と隣接するコワーキング施設「LivingAnywhere Commons横瀬」との連携と共創

4. ちちぶ農業協同組合

- ・食材(米・野菜)のご提供

5. 前澤工業株式会社

- ・食材(野菜)のご提供

6. 日本電子株式会社

- ・分析装置の無償貸出

7. 秩父まるとジオパーク推進協議会

- ・ジオパーク秩父の振興を目的としたパートナーシップ協定

8. 青山学院大学地球社会共生学部古橋研究室

- ・森の居場所整備へのご協力



メディア紹介・ニュース

● LOCAL LETTER(2023/4/10)

- ・子どもの“なぜ?”を奪わない。小中学生の主体的な学び場「NAZELAB」とは

● LOCAL LETTER(2023/4/27)

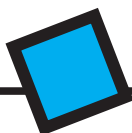
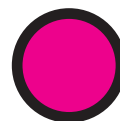
- ・学ぶ楽しさを伝えたい。地球惑星科学の研究者が目指す「教育」のカタチ

● 日本テレビ Oha!4(2023/4/28)

- ・学校に行かない子供たちが通う「ナゼラボ」学校でも家でもない「第三の居場所」が好奇心を育てる

● 日刊ゲンダイ(2023/5/31)

- ・小中学生の自由な学びの場「ナゼラボ」は東工大院出の夫婦がつくった





一般社団法人 タテノイト

〒368-0072 埼玉県秩父郡横瀬町横瀬1263-4
info@nazelab.com

